



森下仁丹

報道関係各位

2013年3月28日
森下仁丹株式会社

当社独自のビフィズス菌 JBL05 株が産生する多糖(BPS)の 創傷治癒効果に関する特許を出願

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、当社独自のビフィズス菌株「Bifidobacterium longum JBL05」が産生する多糖(ビフィズス菌産生多糖体(以下、BPS™*))の特性につき種々研究開発を行ってまいりましたが、この度この多糖およびその誘導体について、優れた創傷治癒効果が得られ、特許出願を行いました。

※BPS™ = Bifida Polysaccharide

今回の特許出願は、京都大学大学院工学研究科の秋吉一成教授、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科の北村進一教授、有限会社IPE(本社:大阪府堺市、代表取締役社長:犬飼忠彦)らと研究開発をすすめているBPSについて、安全で副作用の心配がなく、かつ効率的に創傷患部を治癒することができる、創傷治癒剤の研究開発を行い、その成果を特許出願したものです。

当社は、長年に亘る研究の成果として、安全性の知見と科学的エビデンスを備えた独自の機能性素材を保有しており、自社内外の製品に応用しております。その中でBPSについては、優れた保湿作用を有する素材として既に当社の化粧品に応用しています。また、これまでの研究においてBPSには免疫調節作用や抗アレルギー作用も有することが明らかになっています。

高齢化社会の本格的な到来で長期入院や寝たきりの患者が増えるとされ、これに付随する床ずれの予防や改善等に、より安全性の高い素材の適用が期待されています。当社では引き続きBPSの有用性を検討し幅広い分野への応用、実用化を目指してまいります。

発明の名称 : 多糖ナノゲルおよびその製造方法、ならびにそれを用いた創傷治癒剤

出願人 : 国立大学法人京都大学、公立大学法人大阪府立大学、有限会社IPE、森下仁丹株式会社

出願日 : 平成25年3月25日

出願番号 : 特願2013-062915

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 経営企画部 担当:森下・磯部 TEL:06-6761-1131 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第四業務局 担当:長尾・呉 TEL:03-3571-5275 FAX:03-3574-1005



森下仁丹 〒540-8566 大阪市中央区玉造一丁目2番40号 TEL:(06)6761-1134 FAX:(06)6761-8108